

喜び輝く未来へ～百年後も残る松茂町の郷土料理を考えよう～

概要

本校 6 年生の総合学習「喜び輝く未来へ」のまとめとして、ふるさと松茂町の課題について考える。そのきっかけとして「百年後に残る松茂町の郷土料理を考えよう」の学習に取り組み、郷土が持つ課題やそれを解決していくために自分ができることについて考える活動へとつないでいく。まず、松茂町の郷土料理を考える際に、松茂町や徳島県の特産品や栄養バランス、予算、調理時間、誰に向かって発信するかなどについて話し合い、「オリジナルの松茂町の郷土料理」を考える。そして、家庭科で「徳島祖谷地方の郷土料理でこまわし」を一緒に作った東京在住の料理研究家である杉崎さんに向けてプレゼンテーションをするという目的意識を持ち、プレゼン資料を作る。プレゼン資料の製作にあたり、「良いプレゼンとは何か」について STEAM 学習講師の中村さんに尋ねたり、自分たちで探究したりし、相手によく伝わるプレゼンができるに発表の仕方なども試行錯誤する。さらにプレゼンテーションを作りながら、浮かび上がってくる松茂町が抱える課題について気付かせる。最終的に見つけた「郷土の課題」について自分たちにできることを探究する。

学習のねらい

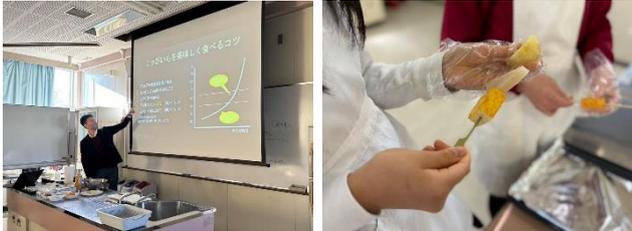
- ① 地域の郷土料理について調べて、「でこまわし」の調理実習をすることで郷土料理を知る
- ② 松茂町の特産品を活用し郷土料理のレシピを考える
- ③ レシピのプレゼンテーション資料を作り、人に伝わる発表をする
- ④ ICT(Canva・調べ学習)を活用する

STEAM 教育としてのねらい

- ・じゃがいもの加熱時間と温度がどんな影響を与えるかじゃがいもの性質を知る
- ・松茂町や徳島県の特産品や栄養バランス、予算、調理時間、誰に向かって発信するかなどについて話し合い、オリジナルの「松茂町の郷土料理」を考える
- ・考えたレシピが相手に伝わるように ICT を活用して表現する力を養う

時系列内容

教科	活動内容	時間 全 7 時間	資料
総合	概要を伝える 郷土料理や祖谷の文化、「でこまわし」の由来をインターネットや本を活用して調べる ワークシートに記入 100 年後に残る「松茂町の郷土料理」を考えることを伝える	1/7 時間	ワークシート「郷土料理について調べてみよう」

<p>家庭科</p>	<p>郷土料理・でこまわし・じゃがいもを美味しく食べるコツ・「でこまわし」の作り方を説明, 実演</p> <p>調理実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みそをまぜる ・具材を串にさす ・みそをぬる ・バーナーで焼く(講師) ・実食 ・食べた感想の記入 ・片付け <p>レシピを考える時のコツを外部講師に児童から質問 ※外部講師が講座・実習を担当</p> 	<p>2/7 時間</p>	<p>スライド「郷土料理を知ろう!」</p>
<p>総合 図工</p>	<p>「松茂町の郷土料理」を考える</p> <p>ワークシートに記入</p> <p>班でプレゼンテーションのスライドを共同で作成 (使用アプリ:Canva)</p> <p>【教科横断的に柔軟にすすめる】</p>	<p>3/7 時間</p>	<p>ワークシート「百年後も残る松茂町の郷土料理を考えよう」</p> <p>スライド「郷土料理を知ろう!」</p>
<p>総合</p>	<p>各班,外部講師に向けてオンラインでプレゼンテーション</p> <p>1 週間後に外部講師が審査した大賞を 1 班発表 まとめと振り返りをする</p>  <p>児童が作成したスライド</p>	<p>1/7 時間</p>	

振り返り

1 学期,2 学期の共同制作を元に子どもたち自身で容易に制作をすすめることができた
(課題)

- ・松茂のどこを知ってほしいかをもっと深く掘り下げる
- ・自分たちの生活スタイルを反映させる
- ・自衛隊や転勤族の方など移住してきた人にも親しみやすいものを考慮する